

【準特選】

みんなが

浜小学校 六年 高田 了一

今、ウクライナとロシアで戦争が起こっていることを知
っているか。おそらく、知らない人はいないだろう。この
戦争は、二〇二二年二月二十四日から始まり、早くも一年
と七か月が経とうとしている。ぼくはニュースや新聞でこ
のことは知っていた。なぜ戦争が始まったのかという原因
や理由は詳しくは知らなかった。ぼくのようにこの戦争の
ことは知っていても、「原因や理由などの根本的なことは知
らないという人はたくさんいるだろう。そんな人のためや
ぼく自身がずっと気になっていたこともあり、ウクライナ
侵攻についてインターネットで調べてみることにした。

ロシアはなぜ兄弟国とも言えるウクライナへ侵攻をした
のか。理由は大きく二つ。まず、一つ目はロシアと仲が良
くない国同士のグループに、ウクライナが入ることを邪魔
するため。そのグループは、アメリカやヨーロッパの国々
でつくる北大西洋条約機構、通称ナト。これはまだロシ
アがソビエト連邦だったころに、敵対するグループとして
できたそう。そして二つ目は、ロシア政権が「ロシア人
とウクライナ人は一体である」という自分たちの意見だけ
で、ウクライナに言うことを聞かせたいから。ロシアにと
っては、ウクライナは「ロシア発祥の地」とも言える場所
なのだそう。

いくらなんでも、あんな理由でも、こんな理由でも、ど
のような理由があろうと、「戦争は絶対にやってはいけな
い」ことだとぼくは思う。そこでぼくは、こんなロシアの

勝手な戦争で被害を受けた人について少し考えてみることにした。ミサイルによって家を粉々にこわされた人、また、こんな戦争で犠牲となって亡くなった人。想像するだけでとてもつらい。この中には生まれてすぐの子どもや、学校で楽しく授業を受けていた子どもたちなどの、まだ幼い子どももいたと知ると、さらに悲しくなった。空襲警報はすごく怖かっただろう。まだ友達とたくさん遊んで楽しく過ごしたかっただろう。

なぜ、全く関係のない人まで亡くならなければならないのか。なぜ、この人たちが恐怖を覚え、この人たちの人権が奪われなければいけないのだろうか。「人権」とは世界中のみんなが幸せに暮らせる権利のことなのではないのだろうか。一人ひとり考え方は少しずつ異なると思うが、ぼくは「こういふことだ」と思う。「世界平和」と口にすることは簡

単だが、世界を平和にするために、例えば、みんながおいしいご飯を食べているかや、みんなが同じような教育を受けられることができているかなど、世界中一人残さず、一人ひとりが常日頃、「みんなが」という考えを忘れず、過こしていくことが大切なことだと思う。

これから、戦争が早く終わり、世界中のみんなが豊かで幸せな人生を送れるような行動をみんながとっていきましよう。